

## きょうの米原高校(12月14日 人権共同映画鑑賞)

湖北地域の県立学校では、校種や課程の違いを超えて共通の映画や演劇を鑑賞し、差別や人権の問題について考える人権共同鑑賞という行事があります。今年度は「グリーン・ブック」という映画を鑑賞しました。



人種差別が強く残っている1960年代のアメリカ南部を舞台に、黒人ピアニストとイタリア系白人運転手が旅を続けるなかで友情を深めていく姿を、実話をもとに描き、第91回アカデミー作品賞を受賞したドラマである本作を通して、人権問題について学びました。



コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、学校を離れ、学年ごとに米原学びあいステーション(旧米原公民館)で席の間をひとつずつ空けて鑑賞しました。



鑑賞後、クラスでグループ討議を行います。

得られた感想や、他の生徒のみなさんの意見を聞くことで討議が深まります。

今回の映画共同鑑賞では人種問題がテーマでしたが、多様性が求められるこの時代に今一度人権問題や差別について理解を深め、自身がとる行動について考えてほしいと思います。

